

東大野球部

メルマガジン

Vol.102



はじめに

朝夕は幾分しのぎやすくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では、たくさんの方のご協力を頂き、約20年ぶりに再開した室蘭合宿を無事終えることができました。また関西遠征では七大戦で優勝を果たし、大きく成長できたと思います。

秋季リーグ戦まで残り2週間ほどとなりました。選手一同「今季こそは必ず勝つ」という今まで以上に強い気持ちを持って日々練習に励んでおります。夏季オープン戦もまだございますので、是非球場に足をお運びください！

今後とも、東大野球部をよろしくお願い致します。

今後の日程

〈夏季オープン戦〉

8月29日 13:00～vs 関東学院大@関東学院大G
13:00～vs 東京学芸大@東大球場



今年の夏の成果

今回のメルマガでは「今年の夏の成果」と題し、室蘭合宿・七大戦・オープン戦・日々の練習など、この夏を通して成長した点、新たに気付いた点を選択手5名に振り返ってもらいました。

北村 康(4年・捕手・筑波大駒場)

野球人生最後の夏ということで、今年は例年以上に気合のこもった、そして充実したものとなりました。特に室蘭合宿での社会人野球の方々との交流は貴重な経験となりました。そのかきもあり今年はず備、打撃ともに一段階レベルアップできたと感じています。最後のリーグ戦では試合に出て勝利に貢献したいと思いますので、どうぞご期待ください！



毛利 拓樹(4年・投手・横浜翠嵐)

僕はこの夏の室蘭合宿を経験して、下半身がまた一段と強化された気がします。毎日球場から宿舍まで走って往復し、球場でランニングメニューをこなす、近くの砂浜でもダッシュをするなど、室蘭の涼しい環境で東京よりも走る量を増やせたことが良かったと思います。



生田 優人(3年・外野手・仙台)

自分はこの夏のオープン戦、七大戦、普段の練習を通じて、多くの実戦経験を積むことができました。その中でどんな球を待つか、どのように打つか、そのためどのような練習をし、どう試合前の準備をし、どうコンディションを整えていくかなどを悩んでいろいろ試しました。この成果を秋のリーグ戦で発揮します。



山本 克志(2年・内野手・聖光学院)

打力向上をテーマにこの夏を過ごしました。春季リーグ戦では、自分も含め「打てない」ことが浮き彫りになり、危機感を持って練習に取り組みました。その成果として、七大戦での優勝、また個人としても六大学オールスター戦でのヒットと結果は出つつあると思います。何としてもこのチームで勝ちたいので、次はない気持ちでリーグ戦に望みたいと思います。

編集後記

今回の特集はいかがでしたか。

大学の授業もなく、野球だけに集中することのできる夏の間に、選手一人一人がしっかり考えながら練習に打ち込み、試合に臨んでいる姿勢が感じられたことと思います。また、七大戦やオープン戦、六大学オールスターなどの実戦経験は、自分の練習の仕方や考え方を見つめ直す良い機会になったようです。

秋季リーグ戦開幕を2週間後に控え、夏季オープン戦も終盤に差し掛かっております。ぜひこの夏の成長をリーグ戦より一足早く、東大球場でご覧ください。

今後とも温かいご声援の程、よろしくお願い申し上げます！



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL & FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

吉川 慶太郎(2年・投手・城北)

今年の夏の成果は、先発と抑えを経験できたことです。オープン戦も七大戦も先発、抑えの両方として登板しましたが、登板のタイミングが違えばそれに向けた準備も違うので、自分なりに考えてベストな状態で登板できるように工夫しました。この経験を活かしてこれからの試合も頑張ります。

